

「感動塾・みちくさ」開所式に参加しました。

感動塾・みちくさが西区の三滝少年自然の家（三滝 8/17-19）と安佐北区の青少年野外活動センター（野活 8/18-20）で行われました。どちらも初日の開所式に参加しました。三滝は「光」、野活は「火」を今年はテーマにしました。三滝は4年生から6年生が対象で、野活は3年生4年生が対象で、毎年、定員の数倍の応募がある人気のイベントです。

開所式の後のアイスブレイクですっかり馴染んで子どもたちは元気いっぱいでした。スタッフの皆さんは本当にお上手ですね。見ているだけで楽しくなりました。



三滝でのアイスブレイクの様子



野活でのアイスブレイクの様子

<感動塾・みちくさ>

道端にある草花や石に感動する気持ちを大切にしてほしいとの願いを込めて「感動塾・みちくさ」と命名されました。子どもたちが、親元を離れて2泊3日の共同生活を行い、身近な生活の中にあるものを題材として創意工夫したり、自然に親しんだりすることで、感動する心を育む。そして、未知なる物への興味を喚起し、互いに協力することの大切さ、科学や技術への興味、関心を高めることを目的としています。

1998年からマツダ財団と広島市文化財団ひと・まちネットワーク部との連携で行っている事業です。安佐北区の広島市青少年野外活動センター、西区の三滝少年自然の家、そして似島臨海少年自然の家で実施してきましたが、似島臨海少年自然の家が閉鎖となり今年度からは2か所で実施しています。

3日間指導される先生方や施設のスタッフ、学生ボランティア、これらの皆さんの熱意で成り立っている事業です。

(井上)